

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-60	講座名	社会と土木の「話の泉」
記載日	2021/4/9	団体名・企業名	CE技術の会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>土木工学の技術が、市民生活の身近なところで活用されている事柄を学ぶことによって参加者のスキルアップに繋がる講座を目指している。今回は大学教授、建設コンサルタント技術士を講師に迎え、地震対策、感染症予防対策といった時機を得た話題と関連したテーマを設定させていただいた。特に、第1回は東日本大震災から10年と節目を迎え、地震のリスク、緊急地震速報などについて易しく解説していただき、第2回は近代水道の整備と感染症、消防利水との関係を分かり易く解説頂くことにした。もう1回これからの都市についての講義を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言により、4月へ延期した。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2020/11/25開催、講師の話を熱心に聞いている受講者		2021/3/24開催、講師の話を熱心に聞いている受講者	
<p>今年度の第一回目に、南海・東南海地震への関心が高まっている中で、地震発生メカニズム、緊急地震速報とその運用、利活用についての講義をしていただいた。特に、緊急地震速報の仕組みと限界、伝達のむづかしさ、使い様について大いに勉強になった。第2回目は我が国の近代水道の整備が果たしてきた感染症流行防止の役割、消防利水の役割についての講義をしていただいた。特に、スペイン風邪などの感染症対策としての専用水道の整備の歴史、それに関わった人々と法制度、新型コロナ禍での水道事業対策などはとても興味深いものでした。いずれのテーマも時機を得たものであり、解り易くお話しいただき、参加者にはとても好評であった。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報の仕組みと対応の仕方が良く解った。 ・大変良い話を有難うございました。 ・水を安心して飲用できる迄には、想定外の工程（長い期間、沢山の人の研究成果等）があった事がわかり、今回の資料を何度も読み返したいと思いました。 			

●団体紹介

団体所在地	〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目2番15号栄南ビル7階 （株）基土木設計事務所 内		
連絡担当者	伊豆原 浩二	ウェブサイト	
TEL	0561-54-5027	FAX	0561-54-5027
E-mail	izuhara1974@gmail.com	携帯電話	090-8325-9002
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
C E 技術の会は、名古屋工業大学土木工学科卒業のシニアOBにより設立された。代表に構造力学の名工大名誉教授を迎え、会員は長年にわたり行政、建設コンサルタント、建設設計・施工等に携わってきたシニア技術者を中心に、卒業生の任意参加団体をして創設された。会の活動は、土木技術や社会インフラ整備等土木技術者としての経験発表や意見交換、情報交換の場、相互研鑽の場として展開してきている。			

●講座開催情報

第一回	講座名	緊急地震速報と地域防災		開催日	11月25日	水
	講師名	小池則満愛知工業大学教授	参加人数	20名		
	内容	東日本大震災の被害を紹介するとともに、地域の地震に対するリスク、緊急地震速報と原理、今後の利活用についてお話しします。				

第二回	講座名	感染症流行防止と消防利水を目的した近代水道		開催日	3月24日	水
	講師名	中西利美（中日本建設コンサルタント(株)技術顧問）	参加人数	20名		
	内容	我が国の過去の感染症や自然災害に対する近代水道の整備との関係を概観し、最近の法制度の方向を分かり易く解説します。				